

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
中山道赤坂宿周辺地区

平成30年3月

岐阜県大垣市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	大垣市		地区名	中山道赤坂宿周辺地区			面積	556ha		
交付期間	平成26年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	177百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道屋飯45号線)、公園(屋飯公園、赤坂スポーツ公園)、地域生活基盤施設(文化財看板設置事業、中山道案内看板整備)、高質空間形成施設(歴史民俗資料館公衆便所整備、金生山道路整備、化石館周辺環境整備)、既存建造物活用事業(旧清水家住宅整備)										
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(文化財看板設置事業)、高質空間形成施設(化石館周辺環境整備)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	-	2事業とも、地権者等との協議が整わなかったため。			指標への影響が懸念されるが、指標への影響を推計する根拠データが不足しているため、目標値は据え置く。						
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-			-						
		提案事業	-	-			-						
	交付期間の変更	当初	平成26年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	平成26年度～平成29年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	交流センターの利用客数	人/年度	0	H25	1,000	H29	-	4,219	○	あり	景観や利用環境に配慮した、歴史的建造物である旧清水家住宅の計画的な施設整備により、当初想定より多くの利用客の確保につながった。	-
										なし			
指標2	中山道赤坂宿周辺来訪者数	人/年	97,575	H25	100,000	H29	-	102,139	○	あり	地区内の公園や施設、景観に配慮した道路の整備により、地区内のイベント等他事業と相まって、来訪者の誘客が図られ、来訪者数の増加につながった。	-	
										なし			
指標3	中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度	%	59	H25	71	H29	-	76	○	あり	豊かな自然や歴史・文化を生かした道路や施設の整備により、地区内の魅力が高まり、来訪者や周辺住民の満足度の向上につながった。	-	
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4)定性的な効果発現状況	旧清水家住宅にて、地区のまちづくり団体による地域づくりのための勉強会が開かれるなど、郷土愛の醸成が図られている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	市民参画によるワークショップ等の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、市民意向を確認しながら、計画的なまちづくりを推進していく。					
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくりに対する市民アンケートの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、アンケート等の手法により、市民の意見を聴取し、市民ニーズに対応した事業展開を図る。					

## 様式2-2 地区の概要

中山道赤坂宿周辺地区(岐阜県大垣市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 自然や歴史、文化などを生かした宿場町周辺の憩いと賑わいの創出 目標1: 歴史的資源等を活用した交流と憩いの場づくり 目標2: 特色ある地域歴史景観の創出による観光客の誘導促進	交流センターの利用客数	単位: 人/年度	0	H25	1,000	H29	4,219	H29
	中山道赤坂宿周辺来訪者数	単位: 人/年	97,575	H25	100,000	H29	102,139	H29
	中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度	単位: %	59	H25	71	H29	76	H29
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧清水家住宅や公園の整備により、地域住民や来訪者の交流の場が創出された。</li> <li>景観に配慮した道路や施設の整備により、地区内の統一性のある空間が形成され、回遊性が向上した。</li> <li>来訪者の増加を図るため、地区の魅力を発信し、認知度のさらなる向上を図る必要がある。</li> </ul>							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティの活性化</li> <li>○地区内の文化施設や公園の利用促進を通じ、地域コミュニティのさらなる活性化につなげるとともに、郷土愛の醸成を図る。</li> <li>○観光客の誘客促進</li> <li>○豊かな自然や歴史的・文化的遺産が多く点在する地域資源を生かしたまちづくりを引き続き推進し、観光地としての魅力を向上させるとともに、地区のPR活動を展開し、来訪者のさらなる増加を図る。</li> </ul>							